

## 新収蔵資料抄

## 田園都市と千年王国 宗教改革からブルーノ・タウトへ

長谷川 章／著 工作舎 2021.3 発行  
本文 613p 22cm 518.88/ネ 13  
2021.5.21 受入 定価 4800 円＋税

## 著者紹介

長谷川 章 (はせがわ・あきら)

1954 年東京生まれ、工学博士、建築家。専門はドイツ近代建築史。主な著書『ブルーノ・タウト研究ーロマン主義から表現主義へ』(ブリュッケ、2017)、『ドイツ表現主義の建築』(鹿島出版会、1989)、『世紀末の都市と身体ー芸術と空間あるいはユートピアの彼方へ』(ブリュッケ、2000)、『芸術と民族主義ードイツ・モダニズムの源流』(ブリュッケ、2008)、『絵画と都市の境界ータブローとしての都市の記憶』(ブリュッケ、2014)、『分離派建築会ー日本のモダニズム建築誕生』(共著、京都大学学術出版会、2020)など。日本建築学会著作賞、商業環境デザイン大賞、神奈川県建築コンクール優秀賞、北米照明学会特別表彰受賞。

## 資料概要

群馬県の工業デザインに大きな影響を与えたドイツ人建築家、ブルーノ・タウト (1880-1938)。

本書は、そのタウトの研究を手がける著者が、イギリスとアメリカの田園都市が成立する過程と、宗教や哲学など都市成立の背景となった精神史、思想史とから、ドイツの田園都市を検証したものである。この研究は、従来行われてきた 19 世紀から 20 世紀の世紀転換期における建築群を、「モダニズム」で括ることの危うさを、著者がタウトの都市構想に見いだしていることが動機になっている。

田園都市を標榜する都市は多くの国にあるが、本書が着目するのは理念を掲げてつくられた都市、哲学や思想、宗教など精神的な理念が透けて見える都市である。本書ではそうした特徴を持った前述 3 国の事例を、歴史的な観点から丹念にたどっていく。そして、このイギリス、アメリカ、ドイツの田園都市に共通する精神性こそ、千年王国の思想に求められると著者は考える。

千年王国とは、新約聖書のヨハネの黙示録を基にしたキリスト教の終末論で、最後の審判の前にサタンが底知れぬ所に閉じこめられ、1,000 年の間、キリストと殉教者や聖徒が支配する世界をいう。この祝福された楽園、ユートピアを造ろうとするムーブメントが特にプロテスタント教国で田園都市として顕現したと考えるのである。

田園都市 (=ユートピア) の都市計画は、同心円を基調とするものから、方形を基調とするものへと変化していく。著者はこの変化の理由を、「同心円=ヒエラルヒーを重視したカトリック的な思想」から、「方形=聖書 (旧約聖書「民数記」) を読み解く中で発想された神の下



## 最寄り図書館に取り寄せ可

## 目次

## 前書 精神都市試論

## 第 I 部 イギリス田園都市と心霊主義

ー 星辰都市と円環の形而上学

- 第 1 章 マニエリスム文学と円環の形而上学
- 第 2 章 円環の世界観とその系譜
- 第 3 章 ユートピア都市と星辰建築
- 第 4 章 イギリス世紀末と心霊主義
- 第 5 章 イギリス田園都市運動と心霊主義
- 第 6 章 ハワードの『明日の田園都市』と心霊主義

## 第 II 部 アメリカ田園都市とピューリタニズム

ー 千年王国思想からテクノロジカル・ユートピアへ

- 第 1 章 ピューリタニズムにおける宗教共同体
- 第 2 章 ウィルダネスとフロンティア精神
- 第 3 章 アメリカン・ルネサンス [超絶主義と社会主義共同体]
- 第 4 章 アメリカン・ルネサンスとハドソン・リヴァー派
- 第 5 章 アメリカ文学とスピリチュアリズム
- 第 6 章 アメリカ田園墓地と生活改革運動
- 第 7 章 アメリカ田園都市の誕生
- 第 8 章 世紀転換期のユートピア文学とテクノロジカル・ユートピア
- 第 9 章 ベラミー『顧みれば』とテクノロジカル・ユートピア

## 第 III 部 ドイツ田園都市とドイツ神秘主義

ー ドイツ敬虔主義の都市と正方形の形而上学

- 第 1 章 ドイツ精神史の淵源としてのドイツ神秘主義
- 第 2 章 ライン神秘主義とマイスター・エックハルト
- 第 3 章 ボヘミア王国の宗教改革とボヘミア兄弟団
- 第 4 章 ネーデルラント神秘主義とドイツ敬虔主義
- 第 5 章 シレジア神秘主義とヤーコプ・ベーム
- 第 6 章 ドイツ敬虔主義とヘルムフト派の誕生
- 第 7 章 ドイツ観念論とドイツ・ロマン主義
- 第 8 章 精神世界の共同体のための都市
- 第 9 章 プロテスタント主義の正方形の形而上学
- 第 10 章 実現したユートピア、ニューヘイヴン
- 第 11 章 ドイツ初の移民都市ジャーマンタウン
- 第 12 章 ヘルムフト派の精神世界と都市 1 ヨーロッパ大陸
- 第 13 章 ヘルムフト派の精神世界と都市 2 アメリカ大陸
- 第 14 章 ラップ主義者と精神都市

## 第 IV 部 ブルーノ・タウト『都市の冠』と千年王国思想

ー 精神都市史からみたドイツ田園都市の源流

- 第 1 章 ドイツ民族主義の精神世界
- 第 2 章 テオドル・フリッチ『未来の都市』
- 第 3 章 ドイツ田園都市運動と精神世界
- 第 4 章 ブルーノ・タウト『都市の冠』
- 第 5 章 ドイツ精神都市の終焉

## 後書 精神都市から田園都市へ

本紙は、県立図書館が新たに所蔵した資料 (図書資料・視聴覚資料) から、ぜひご利用いただきたいものを厳選してご紹介するものです。これらの資料は、禁帯出資料を除き、最寄りの図書館に取り寄せできます。

なお、本紙の内容は Web にも掲載しています。ご覧の際は右の QR コードをご利用ください。

また、内容の誤り等、お気づきの点があればお知らせくださるようお願いいたします。



での平等の思想を表現するプロテスタント的思想」への変化に求める。

この大きな流れの中で、イギリスでは世紀末の心霊主義、アメリカではピューリタニズムとウィルダネスを背景にして、田園都市計画は精神都市計画となり、その後同じように俗化する歴史をたどった。

一方、ドイツは、30年戦争のために啓蒙主義に感化されずに近代に至った。ドイツのモダニズムを決定づけたものは、宗教改革から2世紀を経て復活したルター主義だといふ。

ルター主義はアウグスティヌスが採ったプラトン主義を源流とする神秘主義を内包していた。はたして、この神秘主義こそがドイツの精神世界に通底して、ドイツの田園都市の都市計画に、またタウトの思想に、影響したのだと著者は考える。

『都市の冠』や『アルプス建築』などのタウトの著作からは、確かにモダニズムと遠いところにあるはずの神秘主義の薫りが漂う。彼が群馬県で暮らした場所が、禅宗、黄檗宗の少林山達磨寺だったことは、タウトが「精神都市」を指向した建築家だったことと無関係ではあるまい。

本書は、建築家の著作らしい精緻な構造で編まれている。600頁を超える大著だが、どの部分から読んでも全体の魅力を減じることはない。工作舎らしい美しい装丁も著作に花を添えている。

### 群馬県立図書館所蔵の関連著作

※は禁帯出資料

タイトル	責任表示	出版者	出版年	資料コード	タイトル	責任表示	出版者	出版年	資料コード
百年後の新社会	ベラミー/原著 堺枯川/抄訳	平民社	1904	04758108 ※	タウト全集 第1巻 桂離宮	タウト/[著] 篠田英雄/訳		1942	08335150 ※
近代哲学の精神	ベラミー/原著 堺枯川/抄訳	平民社	[1904]	04758108 ※	タウト全集 第2巻 日本雑記		育成社弘堂閣	1943	04854873 ※
イギリスの田園都市	東京市政調査会/編輯	東京市政調査会	1926	07016355 ※	タウト全集 第3巻 美術と工芸			1943	04786802 ※
イギリス田園都市の社会史 近代都市計画の誕生	ウィリアム・アッシュ ワース/[著] 下総 薫/監訳	御茶の水書房	1987	00177691	タウト全集 第5巻 建築論集	タウト/[著] 藤島 亥治郎/訳		1943	04786794 ※
表現主義の建築 上・下	W・ベント/著 長谷川 章/訳	鹿島出版会	1988	00689794 00689802	ニッポン ヨーロッパ人の眼で 見た	ブルーノ・タウト/著 篠田 英雄/訳	春秋社	1950	09231499
ドイツ表現主義の建築	SD編集部/編	鹿島出版会	1989	00688978	日本の家屋と生活	ブルーノ・タウト/著 篠田 英雄/訳	岩波書店	1981	02786101
世紀末の都市と身体 芸術と空 間あるいはユートピアの彼方へ	長谷川 章/著	ブリュッケ	2000	07688211	日本の家屋と生活	ブルーノ・タウト/著 篠田 英雄/訳	春秋社	1950	09231481
ブルーノ・タウト研究 ロマン 主義から表現主義へ	長谷川 章/著	ブリュッケ	2017	17010240	日本の建築	ブルーノ・タウト/著 篠田 英雄/訳	春秋社	1950	09231473
分離派建築会 日本のモダニ ズム建築誕生	田路 貴浩/編	京都大学学術出版 会	2020	13672613	一住宅	ブルーノ・タウト/ [著]	中央公論美術出 版局	2004	10010213
建築・芸術・社会	ブルーノ・タウト/著 篠田 英雄/訳	春秋社	1951	09206277	画帖桂離宮 特別復刻版	ブルーノ・タウト/著 篠田 英雄/訳	岩波書店	2004	10348720
建築芸術論	ブルーノ・タウト/著 篠田 英雄/訳	岩波書店	1950	02445658	建築家ブルーノ・タウトのすべ て 日本美の再発見者	武蔵野美術大学タウト 展委員会/編	武蔵野美術大学	1984	02953636
タウトが撮ったニッポン	タウト/[撮影] 酒井 道夫/編	武蔵野美術大学 出版局	2007	12724506	高崎市立図書館 ブルーノ ・タウトから山田かまちまで	海野弘/著	群馬県立図書館 (自館複製)	1996	06176481 ※
タウト著作集 第1巻 桂離宮			1946	07862576	新しい住居 つくり手としての女性	ブルーノ・タウト/ [著]	中央公論美術出 版局	2004	10010205
タウト著作集 第2巻 日本の建築			1946	07862584	図説精読日本美の再発見 タウトの見た日本	ブルーノ・タウト/著 篠田 英雄/訳	岩波書店	2019	13605324
タウト著作集 第3巻 日本の居住文化	ブルーノ・タウト/著 篠田 英雄/訳	育成社	1948	07862592	都市の冠	ブルーノ・タウト/ [著]	中央公論美術出版	2011	13160858
タウト著作集 第5巻 現代の建築			1948	07862600	日本 タウトの日記 1			1955	02929347
タウト著作集 第6巻 日本の芸術			1946	07862618	日本 タウトの日記 2			1955	02929339
タウト著作集 第7巻 日本雑記			1946	07862626	日本 タウトの日記 第3	ブルーノ・タウト/著 篠田 英雄/訳	岩波書店	1957	02929321
タウト著作集 第8巻 批判と随想			1947	07862634	日本 タウトの日記 第4			1958	02190726
タウトの高崎時代 パトロン井上房一郎氏に聞く	藤森照信/著	群馬県立図書館 (自館複製)	2003	10850493 ※	日本 タウトの日記 第5			1959	02190734
タウト建築論講義	タウト/[著] 沢 良子/監訳	鹿島出版会	2015	13319520	日本雑記	ブルーノ・タウト/ [著]	中央公論新社	2008	12929881
タウト建築論講義芸術論	ブルーノ・タウト/著 篠田 英雄/訳	岩波書店	1948	09206285	日本美の再発見 建築学的考察	ブルーノ・タウト/著 篠田 英雄/訳	岩波書店	1939	01728443
					日本文化私観 ヨーロッパ人の眼で見た	ブルーノ・タウト/著 森【トシ】郎/訳	講談社	1992	07859739
					忘れられた日本	ブルーノ・タウト/著 篠田 英雄/編訳	中央公論新社	2007	12782587